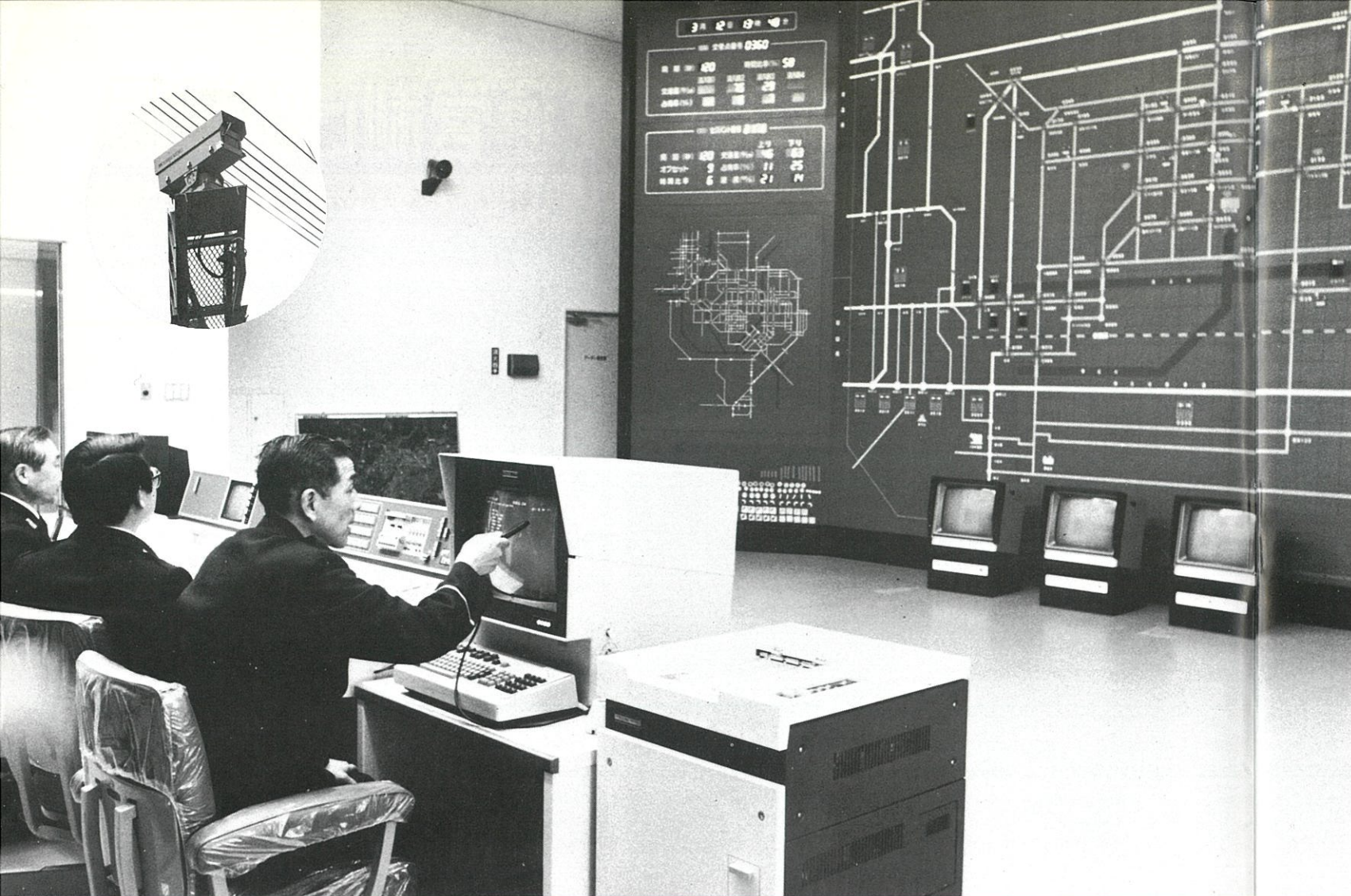


通信指令、交通管制に新装置

県警察本部新庁舎が完成





▲市街地の交通渋滞緩和に大きな期待がかけられている交通管制センター。円内は交差点にとりつけられたテレビカメラ（盛岡市）

高速大量交通時代に対応した交通管制とスピーディーな犯罪の処理が期待される県警察本部の新庁舎が盛岡市内丸に完成。昭和54年7月の工事着工以来、総額36億4,200万円をかけ、鉄筋コンクリート造り11階建て、地下3階。独立庁舎としては東北随一の規模を誇る。

目玉は新装置を備えた通信指令室と、新しく設置された交通管制センター。

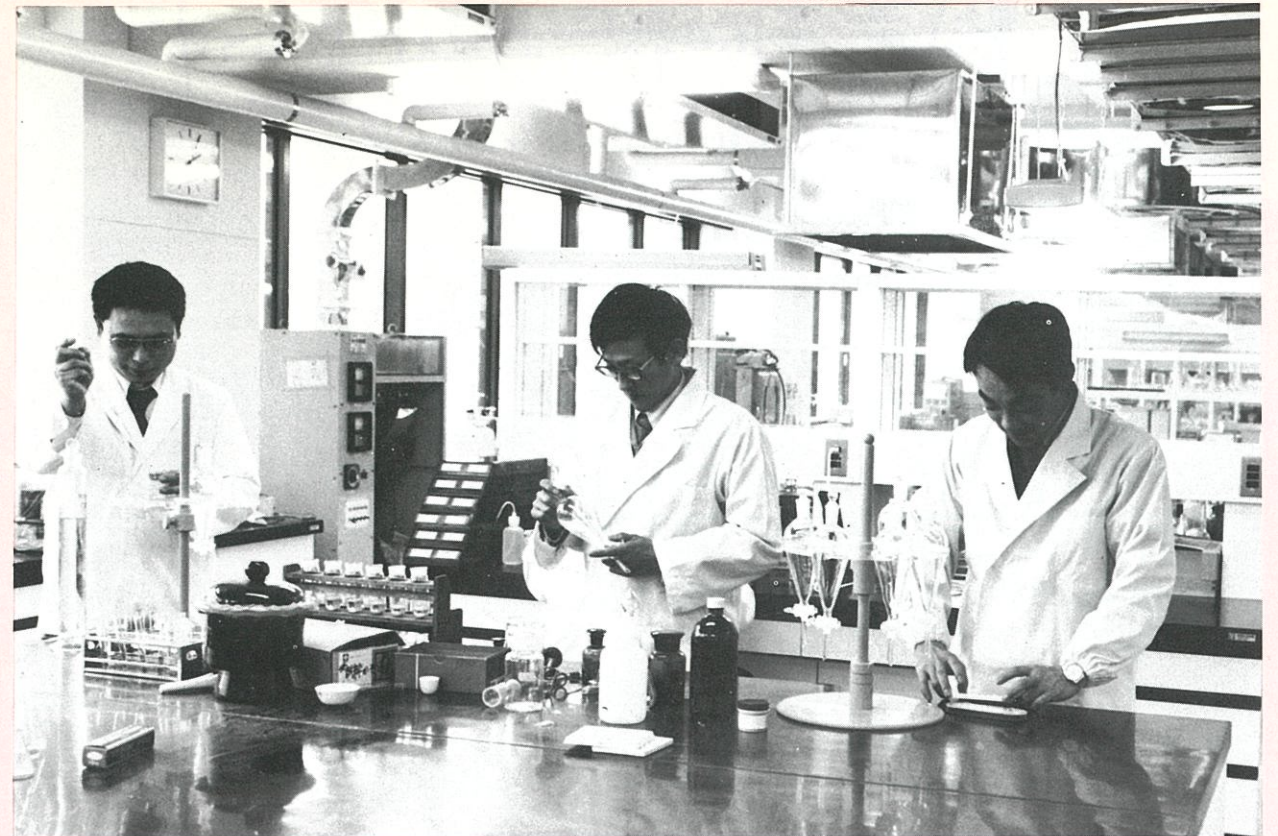
通信指令室は、これまで2台だった110番受理台が4台に増え、総合指令台にはかかってきた110番の内容が、ブラウン管に映し出される装置もあり、重大事件などに対しては、これまで以上に素早く対応できるという。さらにパトカー動態表示盤、緊急配備表示盤、緊急配備個所をランプで示す大型地図盤などの大型パネルも導入、機能が大幅に向上した。

また、今月から稼動している交通管制センターでは盛岡市内と周辺の信号機をコンピューターで制御し幹線道路の渋滞が緩和され、交通事故防止や交通公害の減少が見込まれる。

最新鋭のシステムを導入した県警察本部新庁舎。私たちの暮らしや財産を守るかなめとして大きな期待がかけられている。



▲1階に設けられた県民コーナー。車いすも配置され、県民に親しまれる庁舎を目指している



▼機材が整えられた科学捜査研究室。事件解決には、大きな役割を果たす



▲新しい装置が入り、機能が大幅に向上した通信指令室